

本の明日を握り得るに至ると確信するものである。然るに資本家地主の政府は農民大衆の窮乏は素より一般勤勞大衆の生活の困難に付き何等顧る所なく徒らに大巾の關稅引上げインフレーション政策、穀貯藏米穀統制に依り資本家地主の利益にのみ努め更に資本家地主の經濟的基礎を固め利益を増大せしむる爲に一九三六年を目標に世界第二次戰爭を執行せんとシフアツシズム獨裁政治（注意）

資本家地主政府のかゝる政策手段は局部的若くば一時的には効果を齎すことあるとは云へ更に一般勤勞大衆の生活を益々惨めな窮乏の鐵鎖に縛つて行く矛盾を深め恐慌の犠牲を強めるものである。然らば飢餓と窮乏の水準を一日一日と堀下げ悲惨な生活に喘ぐ勤勞農民大衆の現状を解決し得るには如何なる手段方法に依るべきであらうか云ふまでもなく農業に従事して居る全農

民が鋼鐵の如く團結し工場鐵山の勞働者と提携し資本家地主の強慾極まりなき搾取壓迫に決然と戦ひ日本農業の生産條件を得るのでなければならぬのは勿論。税金借金村政農會産業組合等地主獨占物農民の要求を抑壓し利益を蹂躪する一切の問題を上げて闘ふことである。一九三四年に於てインフレーションは深化し大衆の生活は益々窮乏の淵に押付けられると共にフアツシヨの勢力は更に募りそれが尙一層經濟難を助長することは論ずる迄もないのである。

我が全農福佐聯合會は縣下全農民の生活權擁護の爲めに組織を強め農民大衆のあらゆる不平を取り上げて闘争に起たせ殊に地主の（土地引上げ）（小作米請求）等の逆襲に對しては決死的闘争を以て生命を守り更に社會ファシスト共に對する闘争を精力的に起すべきである。